

部分的消褪20例の結果をえている。

このように早期がんのすばらしい効果に比して、進行がんでは当然とはいえ効果が劣るのは、この方法の限界であるとともに、今後の研究が期待されるところである。しかし、腫瘍が巨大で、かつ重要な臓器などに広範に浸潤していて手術が不能の場合、PDTを行ない、腫瘍の縮小を試みてから手術を行なうこともきわめて重要な方法である。実際に、通常では肺切すべきところを肺葉切除や気管形成の手術に縮小しえた例

を経験している。

食道がん、胃がんについても、早期がんに対しては、PDTは著しい効果をあげているが、進行がんについては、レーザーの照射方法や照射量などの問題を含めて、今後検討すべき問題が残されている。しかし、女性性器がんや皮膚がんへのPDTのすばらしい効果をみると、著者が序言で「この分野の研究は未だ開拓期にあり、集大成するには早すぎる」と述べているが、がん征圧に対する国民の期待が高まっている現在、制

がんの革命的方法を紹介することは時宜に適っているといえよう。文章は簡潔明快、平易な英語で書かれており、近來稀な、世界に誇りうる名著である。

B 5 頁128 図10 写真 87 原色図42 色図1 1983 ¥12,000
〒300 医学書院 刊

(東京大学教授：医用電子研究施設
施設長・同臨床医学部門 渥美和彦)

◇ 編集室だより ◇

雑誌名の省略について

最近、引用文献に掲載される雑誌名の略称は、1970年に American National Standards Committee から出された「International List of Periodical Title Word Abbreviations」による略し方が、国際標準として、一般化してきました。皮膚科領域に関係のある言葉の例を下記にあげました。御投稿の際には、これらを参考にして下さい。

「臨床皮膚科」編集室

Acta Dermato-Venereologica : Acta Derm. Venereol.,
Aktuelle Dermatologie : Aktuel. Dermatol.,
Archives for Dermatological Research : Arch. Dermatol. Res.,
Archives of Dermatology : Arch. Dermatol.,
Australasian Journal of Dermatology : Australas. J. Dermatol.,
British Journal of Dermatology : Br. J. Dermatol.,
Clinical Allergy : Clin. Allergy,
Clinical Experimental Dermatology : Clin. Exp. Dermatol.,
Contact Dermatitis : Contact Dermatitis,

Dermatologica : Dermatologica,
Dermatologische Monatsschrift : Dermatol. Monatsschr.,
Dermatology Digest : Dermatol. Dig.,
Hautarzt : Hautarzt,
International Journal of Dermatology : Int. J. Dermatol.,
Journal of Cutaneous Pathology : J. Cutan. Pathol.,
Journal of Investigative Dermatology : J. Invest. Dermatol.,
Zeitschrift für Hautkrankheiten : Z. Hautkr.,

〔日本の場合〕

日本皮膚科学会雑誌（皮膚科及び泌尿器科雑誌，皮膚科泌尿器科雑誌，皮膚科性病科雑誌）：日皮会誌，
西日本皮膚科：西日皮膚，（皮膚と泌尿：皮と泌）
臨床皮膚科：臨皮，（臨床皮膚泌尿器科：臨皮泌）
皮膚科の臨床：皮膚臨床，
皮膚科紀要：皮紀要，
皮膚：皮膚